

教科名	地歴	科目	世界史 A	週授業時間	2
-----	----	----	-------	-------	---

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「現代の世界史 世界史 A」（山川出版社）

副教材：「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院）

2. 授業の目標および内容

世界をとりまく環境は刻々と変化をしています。現在でも世界の至るところで内乱を含めた戦争がおこり、戦争を介して新たな国家（政権）が誕生しています。このように国家誕生の歴史は、戦争の歴史と言っても過言ではありません。中世から近代にかけては、このように生と死をかけた人々の努力を経て、民主的な近代国家が誕生していきました。さまざまな過去の人々の努力により、自由・平等を基礎とした民主主義が形成され、現代世界の基礎が確立されたことを意識して下さい。そして、世界の諸地域には、さまざまな言語・生活習慣・宗教・文化などが数え切れないほど存在しています。すべてを理解することは困難ですが、それぞれの国家のあらましを理解するとともに、将来の日本を背負って立つ国際人としての資質を養い、異文化を寛容に受け入れる態度や姿勢を育むことで、人権的な偏見を無くし、国際協調の精神を持つための準備段階を整えることが授業の目標の一つです。

本校では高校2年次に理系を選択すると二度と世界史を履修することができません。この場合、私たちが社会人となったときに必要とされる近現代について学ぶことができなくなってしまいます。そこで本授業では2年後の受験も視野に入れつつ、中世の終わりから近代に至るまでの世界史を大航海時代の発展と繁栄から市民革命へ至る歴史を中心として学びます。古代からの歴史は2年次以降の世界史選択の授業で扱う予定ですのでご了承ください。現在ニュースなどで耳にする様々な事件も、大航海時代以降の歴史的な事柄が「起因」となっているものもあります。そのような事件の背景をしっかりと考察する力、つまり歴史的な視野を養うこともこの授業の目標の一つです。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験			第1回 9月		第2回 2月

内容・難易度について

- ① 定期試験：100点満点で出題します。範囲はその都度指示します。
- ② 学力試験：世界史A 50点満点、現代社会 50点満点を合わせて100点満点で出題。

4. 課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

5. 評価の視点

定期試験の点数を基準に、学力テストの結果・課題やノートの評価、学習態度などを総合的に評価します。

高1世界史Aの授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	世界地図 第3章 世界の一体化とヨーロッパ	①大航海と世界の一体化の始まり ②16世紀の西ヨーロッパ ③17～18世紀の西ヨーロッパ ④16～18世紀の東ヨーロッパ ⑤西欧を中心とする世界の一体化	ヨーロッパが世界史的 的辺境から中心へと 台頭する過程を理解 し、現代世界とのつ ながり認識する。
2	第2章 アジア諸国の繁栄 第4章 近代の欧米社会	②東アジア・東南アジア諸地域の変動 と再編 ③近世の日本と世界 ①イギリス産業革命 ②アメリカ独立革命 ③フランス革命	中学で学習した日本 の歴史を関連付けさ せる。
3	第4章 近代の欧米社会	④反動と改革 ⑤ナショナリズムの時代 ⑥南北アメリカの道	政治的には民主主義 の原理が、経済的に は資本主義の原理が 確立されて現代社会 の基礎が出来上った 過程を理解する。